

令和3年10月25日
FIoT コンソーシアム 応力発光技術分科会
会長 寺崎 正
主査 藤尾 侑輝

令和3年度 第2回 応力発光技術分科会のご案内

－水素技術:カーボンニュートラルを拓くセンシング技術－

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当コンソーシアムの分科会活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。水素は CO₂ を出さず、温暖化対策など持続可能な社会の切り札です。製造や用途の多様性もあり、カーボンニュートラル、エネルギーセキュリティでも期待が高く、家庭用・業務・産業用電池に加え、モビリティでの使用とインフラ形成の加速から、全世界での急成長が見込まれています。(2020年 10兆円、2030年 40兆円、2050年 180兆円)。国も「水素・燃料電池戦略ロードマップ(NEDO)」を策定し、低コストな水素調達・供給を鍵とし、「製造(つくる)」、「利用(つくる)」に加え「貯蔵・輸送・供給(ためる・はこぶ)」の技術開発を進めています。そこで今回は、水素関連で活躍する講師の方々に話題提供頂き、水素社会に向けたセンシングの貢献について考える機会といたたく、下記要領にて第2回分科会を開催いたします。ご出席のほど、よろしくお願いいたします。

敬具

記

日時: 2021年11月26日(金) 13:00~16:45 (12:30受付開始)
会場: 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館11階 会議室2(11207室)
※ Microsoft Teams を使用したオンライン会議
※ 参加申込後、11月中旬にお送りする URL からご参加ください。

13:00~13:05 開会挨拶
応力発光技術分科会 会長 寺崎 正

13:05~13:35 講演1「水素社会に向けた水素戦略(国の取り組み)」
産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター
研究センター長 古谷 博秀

13:35~14:05 講演2「水素ステーション全般に関わる ENEOS の取組」
ENEOS株式会社 水素事業推進部
担当部長 南條 敦 様

14:05~14:35 講演3「高圧水素用肉厚 CFRP 容器の設計・非破壊検査」
東京工業大学 大学院理工学研究科
准教授 水谷 義弘 様

14:35~14:50 休憩

- 14:50～15:20 講演 4「応力発光による高圧水素容器の寿命予知診断」
産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター
主任研究員 藤尾 侑輝
- 15:20～15:50 講演 5「水素技術を支える水素材料先端科学研究センターにおける
安全管理とヒヤリハット事例分析」
産業技術総合研究所 関西センター
所長代理 栗山 信宏
- 15:50～16:20 講演 6「水素関連の国際標準化」
一般社団法人水素供給利用技術協会 (HySUT) 技術部
富岡 秀徳 様
- 16:20～16:45 総括 応力発光技術分科会 会長 寺崎 正
講演終了後 次回案内、事務連絡等 応力発光技術分科会 主査 藤尾 侑輝

以上